

11月2日(金)

全国初の「ノーレジ袋デー」を実施します

市民の皆さんへお願い

当日は市内のスーパーやお店ではレジ袋をお渡ししませんので、家庭にある袋をご持参ください。

また、大型店では店頭で袋を購入できます(160円～500円程度)。皆さんに買い物袋を持参していただければ、一日で約9万5千枚のレジ袋を節約できるのです。

狭山市は、緑と健康で豊かな文化都市・狭山」を次の世代に引き継ぐため、

平成8年11月2日に「リサイクル都市」を宣言し、その一環として、ごみの減量と地球資源を節約するためにマイバッグ・キャンペーンを実施してきました。

市民や事業者の代表で組織される

狭山市のごみ減量化推進会議では、

この運動をより実効性のあるものとするため、身近な生活の中でできる具体的な行動として、消費者は買い物袋を持っていく、

市内の商店はレジ袋を提供しない、

「ノーレジ袋デー」を

今年のリサイクル都市宣言記念日の11月2日に、

全国に先駆けて実施することになりました。

皆さんご協力ください。

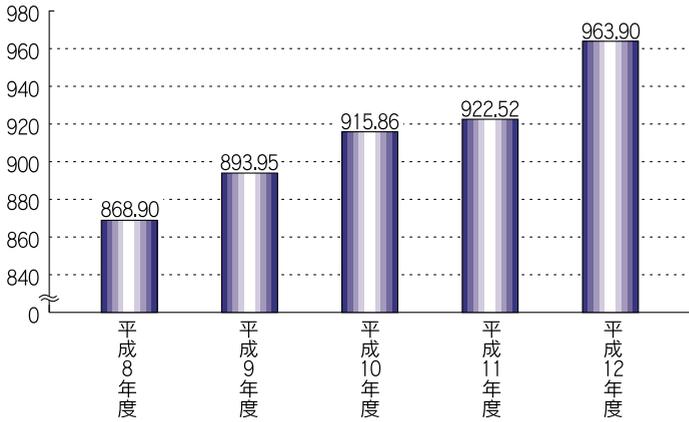


11月2日は
ノーレジ袋デー
お店からの提供は
ありません。

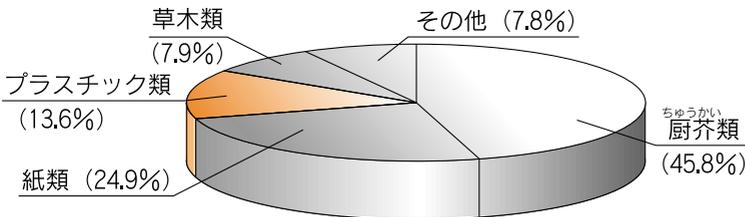
11月2日は ノーレジ袋デー



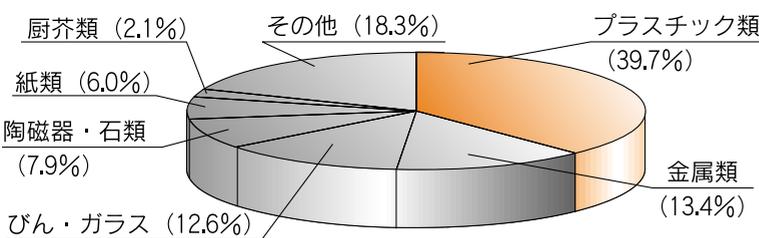
■市民一人当たりのごみ排出量 (g)



■燃やすごみの内訳 (%)



■燃やさないごみの内訳 (%)



市民一人当たりのごみ排出量は「狭山市の清掃行政の概要」燃やすごみと燃やさないごみの内訳は昨年7月に実施した「ごみ組成分析調査」より

年々増える ごみの量

市民一人当たりの一年間のごみ排出量は、左のグラフのように年々増えていま

す。これらのごみの中には燃やさないごみで13.6%、燃やさないごみで39.7%のプラスチック類が含まれています。しかし、ここに挙げた数値は、ごみ全体に対する重さの割合です。プラスチ

ック類は軽いので、容積にすると排出されたごみのかなりの割合を占めることとなります。そしてこのプラスチ



ックの中には多くのレジ袋が含まれているのです。狭山市では、燃やすごみは半透明の袋、燃やさないごみは透明の袋に入れて集積所に出していただいておりますが、レジ袋に

袋を重ねることで、水分が外にもれない「手」が汚れないなど手軽なレジ袋は便利に使われています。しかし、ごみ処理の現場では、重ねられた袋の中が見えず危険です。また、石油を原料

とするプラスチック製品であるレジ袋は燃やすと高熱を発生し、焼却炉を傷める原因にもなります。さらに、埋め立てても分解せず、永久に土の中に残ってしま

なぜ今「ノーレジ袋デー」なの？

レジ袋を減らすことは、ごみの減量と限りある石油資源の節約につながります。

2000年の日本ポリオレフィンフィルム工業組合のデータでは、1年間に1人約220枚、日本中ではなんと約280億枚のレジ袋が使われています。狭山市の人口を約16万2千人として計算すると、市内で1年間に使われるレジ袋は約3千500万枚、1枚の重さを7gとすると245tにもなります。そのすべてがごみとして出されると、約1千万円もの収集や処理の費用がかかってしまうこととなります。また、資源の節約から考えてみましょう。レジ袋は石油を原料としているプラスチック製品です。日本生協連などの試算によると、Lサイズのレジ袋を